

# 利用者と地元企業が支える 住民参画型の 持続可能な移動の仕組みが実現した **秘訣** とその効果 —チョイソコひさえだの実践—

尾崎隆男・吉岡隆/久枝地区まちづくり協議会 大石一浩/ネットヨタ瀬戸内株式会社（連絡先：n-seto24[at]netz-setouchi.co.jp）

土井勉/一般社団法人グローバル交流推進機構 西堀泰英/大阪工業大学 鈴木雄/東京理科大学

## ◆豊かな移動で豊かな暮らしを実現する定額制送迎サービスチョイソコひさえだ

松山市久枝地区は、地区を囲むように鉄道が通り、地区を縦断するバス路線があるものの、公共交通の不便な地区が多く、買物や通院などの日頃の外出が困難との声が上がっていた。そこで、久枝地区まちづくり協議会（まち協）とネットヨタ瀬戸内等が連携し、トヨタ・モビリティ基金の助成を得て移動問題を解決することを目的とし、定額制送迎サービス「チョイソコひさえだ」の運行を開始した。

## ◆公金投入ゼロで運営する仕組み

本取り組みの特徴は、行政の支援を得ることなく、利用者と地元企業が支えることで持続可能な運行を目指していることである。まち協が運行主体となり、予約配車はネットヨタ瀬戸内、運行業務と運行管理はタクシー会社が担う。この体制で運行するために様々な障害があったが、**熱意を持って取り組む**ことで乗り越えることができた。

利用者は会員制とし、月額3,000円の定額乗り放題である。さらに地元にゆかりのある企業等（協力事業者）から協賛金を募ることで、利用者の会費だけでは賅えない運送コストを補填することとし、公金投入ゼロでの住民参画型の持続可能な運営を目指した。

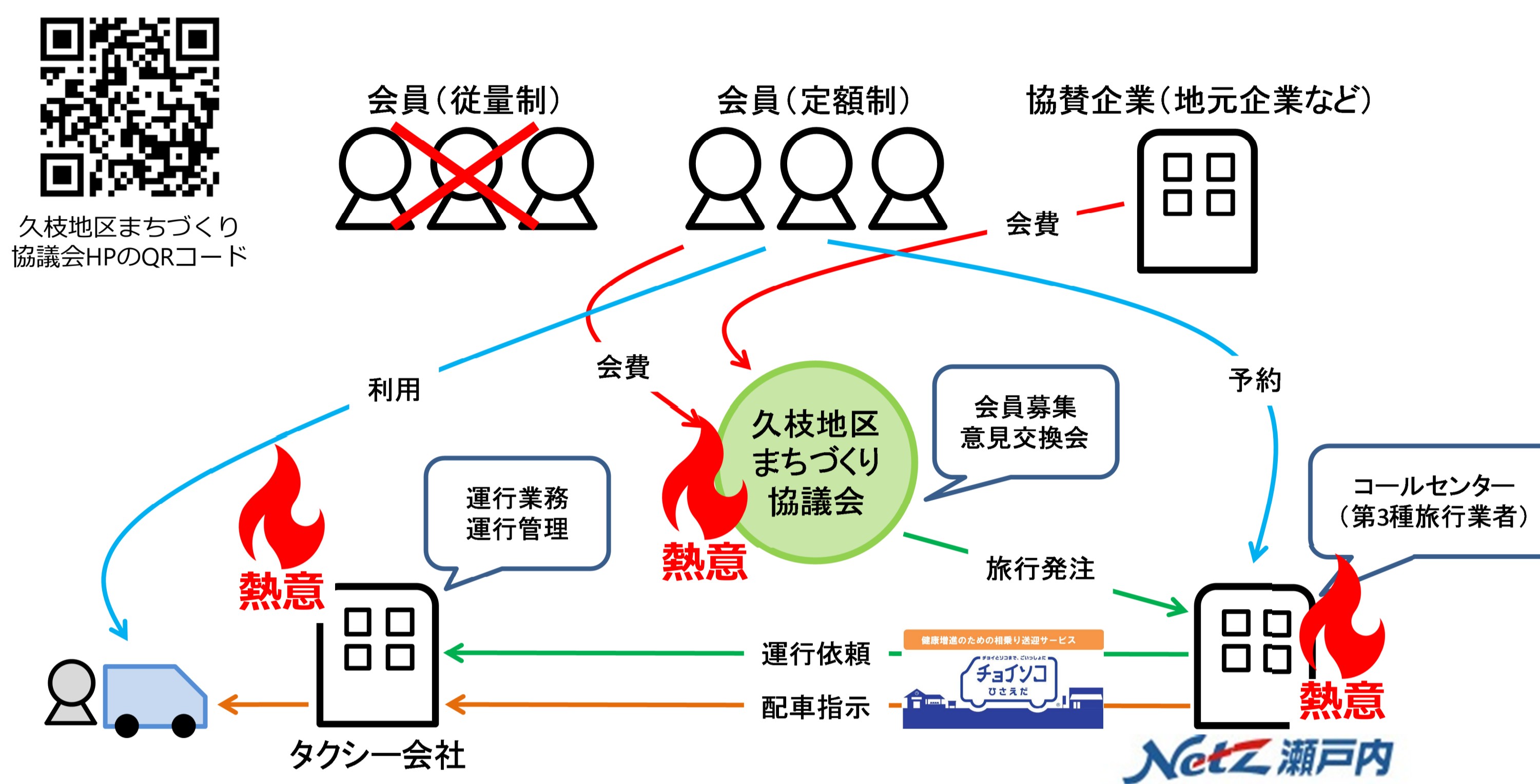


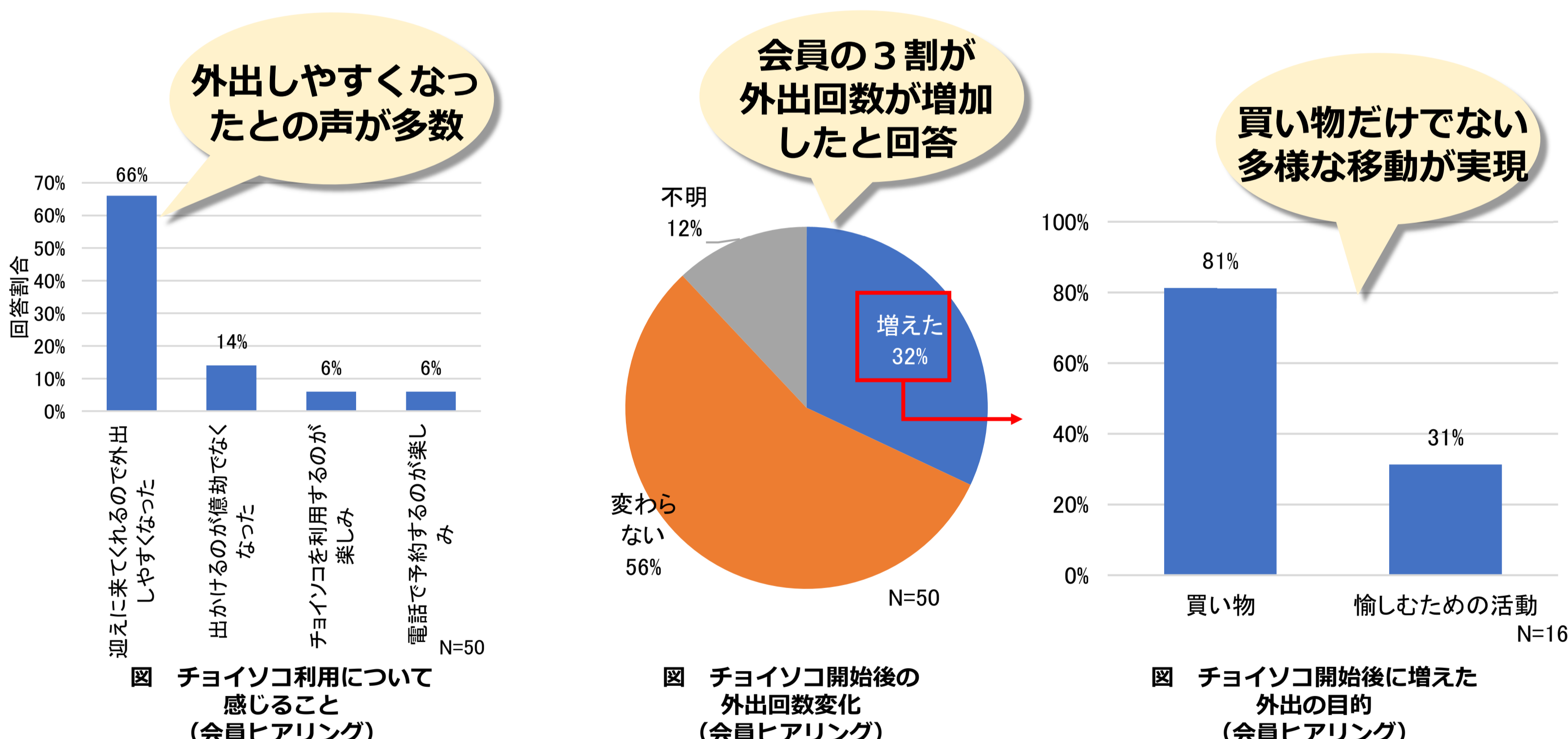
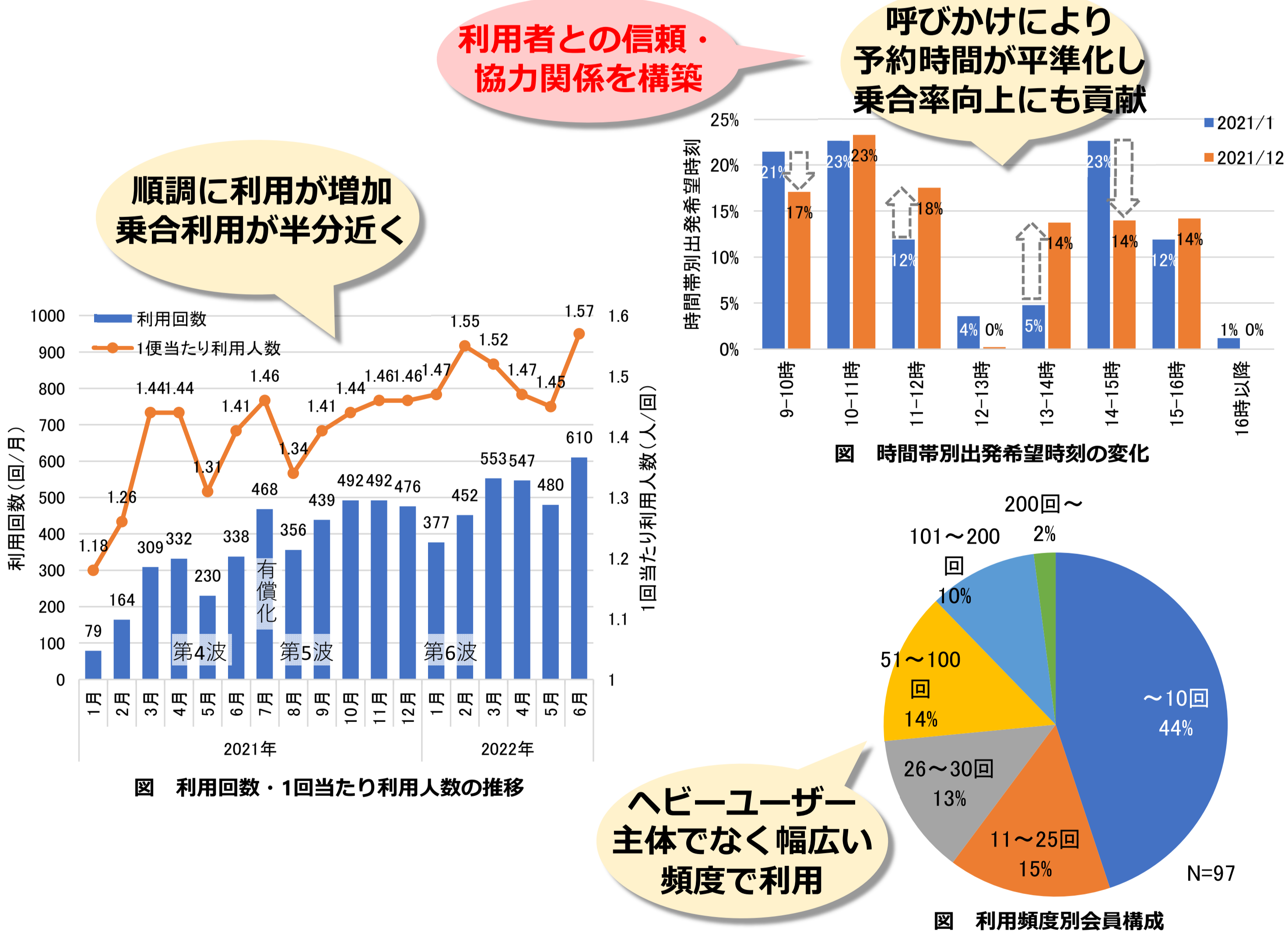
図 チョイソコひさえだの仕組み

## ◆利用者の評価は良好！しかも公金投入ゼロを達成！

2021年1月から無償実証実験を開始し、同年7月から有償運行を開始した。会員や協力事業者は順調に増加し、2022年4月1日時点で**会員数83人**、**協力事業者は56社**（協賛金額**609万円/年**）である。2021年度は公金を投入しない運営を達成した。

予約の際等に利用者と会話や交流を行うことで、ピーク平準化や乗合率向上のための**提案ができる良好な関係**を作れた。

2022年3月では日平均25回（553回/22日）の利用があった。利用者50人への聞き取り調査から、**3割の方が外出回数が増えた**と回答し、その外出目的は買物だけでなく**友人とのカラオケなどの楽しみの活動**など多様な移動が実現するなど、定額制にした効果を確認できた。



- 利用者から届いた声の例（要約）
- ・ドライバーさんもプレーンセンターの方も皆優しく嬉しくなる
  - ・協力事業者さんの停留所で椅子とお茶を出してくれた
  - ・希望を伝えたら、数日後には停留所が設置された
  - ・乗り合いになった人と一緒に体操教室に行くことにした
  - ・実際にスーパーに行って色々見れる方が楽しい
  - ・月3,000円で乗り放題なのでお金を気にせず買物にいける
  - ・体調が悪くても1人で病院に行ける。本当にありがたい

チョイソコは、移動のみならず、地域の交流や自律的な生活など、「豊かな暮らし」を実現

## ◆久枝モデル実現の **秘訣**

- ★自治会起点で熱意を持って取組んだこと  
地元の希望に対しては各方面で理解が得られやすい
- ★月額3千円の定額制としたこと  
お金を気にせず何度も利用できる。お値打ち感
- ★地元企業等に協賛を依頼したこと  
地域に貢献できることが何かを企業等に考えてもらった
- ★利用者目線の運営を実現できたこと  
運行と予約受付が密に連携し、希望には迅速に対応
- ★利用者に提案できる関係を作れたこと  
乗合利用の推奨や10分程の時間変更を提案するノウハウ

## ◆より多くの地区での「豊かな暮らし」の実現に向けて

まち協が主体となり、利用者の会費と協力事業者の協賛金で運送コストを賄う持続可能な移動の仕組みが実現した秘訣は、地元が熱意を持って取り組むことで、運行業務や協力事業者の理解と協力や、利用者の支持を得られたことなどが挙げられる。

定額制にしたことで買物や楽しみの活動等の多様な外出が増加し、「豊かな暮らし」を実現するなどの効果も確認できた。地元の熱意により実現したこの移動の仕組みを「久枝モデル」とし、他の地域にも展開する計画である。

謝辞：実証実験の実施にはトヨタ・モビリティ基金の支援をいただきました。ここに記し謝意を申し上げます。